



片桐 文夫 議員



農業用廃プラ処理の助成増額を

問 中国など東南アジア諸国のプラスチック輸入禁止措置の影響などで、農業用廃プラスチックの処理費が高騰している。

答 昨年の12月定例会では、処理費に対する助成金の増額について、関係機関と協議を図るとの答弁があったが、その後の進展は。

問 現在県と協議を進めており、県としては、県内を取り巻く廃プラスチック処理の状況や、施設の現状などを整理した上で、改善策を検討したいとの回答があった。

答 コロナ禍で野菜の価格が低い状況にある。農業は本市の基幹産業であると市長も常々言っているが、本市だけでも助成額を増額することはできないか。

問 県と農協も含めた協力体制が必要となるので、引き続き協議を図り、改善策を見つけていきたい。

安心して登下校できる対策を

問 ガードレールのない歩道や幅員そのものが狭い歩道など、本市の道路は子ども達が安心して登下校できる状況とは言えない。特に4月からは新1年生が登下校することになるが、安全対策としてどのような指導や体制を考えているのか。

答 入学後に交通安全教室を実施しており、小学校では道路の安全な歩き方や横断歩道の渡り方など、中学校では安全な自転車の乗り方などを指導している。また、登下校時の児童の安全を見守るため、年間を通じて学校や地域のボランティア、PTA役員などの協力により、交差点などでの交通指導や巡回パトロールを行っている。

問 幅員そのものが狭い歩道など、本市の道路は子ども達が安心して登下校できる状況とは言えない。特に4月からは新1年生が登下校することになるが、安全対策としてどのような指導や体制を考えているのか。

答 入学後に交通安全教室を実施しており、小学校では道路の安全な歩き方や横断歩道の渡り方など、中学校では安全な自転車の乗り方などを指導している。また、登下校時の児童の安全を見守るため、年間を通じて学校や地域のボランティア、PTA役員などの協力により、交差点などでの交通指導や巡回パトロールを行っている。



昨年の三川小での交通安全教室

その他の質問事項

○ ワクチン接種について

ワクチンの円滑な接種に向けて

問 新型コロナウイルスワクチン接種について、集団接種を予定しているとのことだが、接種会場を増やしたり、個人接種と一緒に並行して実施することはできないか。

答 総合体育館、飯岡保健センター、海上支所、ひかた市民センターの4会場を予定しているが、実施して、どうしても必要になったら特設会場も考える。

問 個別接種については、現時点ではワクチンの輸送や管理の問題があるのでは難しい。

答 ワクチンを誰が、いつ、何回接種したか、自治体が接種情報を正確に把握する仕組みが必要であると思うが、政府が打ち出しているコロナワクチン接種記録システムの導入について、予定はあるか。

問 ワクチンを誰が、いつ、何回接種したか、自治体が接種情報を正確に把握する仕組みが必要であると思うが、政府が打ち出しているコロナワクチン接種記録システムの導入について、予定はあるか。



伊藤 房代 議員



通学路の安全確保を

問 中央小学校北側交差点付近の「学童注意」や「速度落とせ」などの路面標示が薄くなっているため、早急にペイントの塗り替えをすべき。

答 見えにくくなっているもの、新しく設置する箇所も含めて、今後対応を検討する。

問 登下校時、スピードを出して運転する車が多く大変危険であるため、スクールゾーンにして30キロ規制にできないか。

答 スクールゾーンを設定して交通規制をすると地域住民に大きな影響が出ることから、慎重に検討する必要がある。速度規制については、要望があったことを旭警察署に伝える。



中央小学校北側交差点

その他の質問事項

○ 次亜塩素酸水生成器の導入
○ 学校給食について